

1 教科・領域 国語

2 単元名・教材名 よりよい意見にまとめよう
「話し合って決めよう」

3 単元の目標

◎友達と自分の考えの相違点や共通点を理解しながら、よりよい意見に決めるために進んで話し合いに参加する。

○合意点を見つけようとして発言し、話し合いによって物事を決める楽しさを知る。

4 単元について

(1) 児童の実態

男子11名（特別支援学級所属児童1名を含む）、女子16名、計27名のクラスである。明るく元気な児童が多く、特に男子は活発である。授業でも、静かにじっくり考えるというよりも、体を動かしたり、実験をしたり、具体物を使ったり、活動的な学習を好む児童が多い。

ほとんどの児童が自分の意見をもつことができ、それを発表しようとする意欲にあふれている点がこのクラスの長所である。高学年になりつつあるが、恥ずかしがることもなく、積極的に手を挙げて発言する。また、道徳の授業では、自分の心情を素直に発言することもできる。よって、様々な考えがあげられ、普段からそれらにふれることはできている。

しかし、その一方で、友達や教師の意見を最後まで静かに聞くことができない児童が多い。そのため、今何をすべきかわからなかったり、話し合いがなかなかまとまらなかったりすることが頻繁である。自分の意見を言うことで満足し、他の意見を聞いて、その内容を比べようとする態度が身につけていない状態にある。

(2) 教材について

本教材は、毎日の生活の中で必要となることが多い「話し合い」の活動を上手に進めるためには、どんなことに気をつけたらいいかを考え、実際に話し合いに生かすための学習である。

まずは、教科書に出ている話し合いの様子をもとに、よりよい意見にまとめるためにはどんなことに気をつけたらいいかを確かめる。次に、気をつけたらいいことを念頭に置きながら実際に話し合いを行ってみる。実際に話し合いをするための話題は、クラス全員に深い関わりがあって、様々な意見をもつことができるものがよいであろう。

特に本単元では、“よりよい意見にまとめる”ということに重点を置く。そうすることで、自分の意見を言うだけでなく、友達の意見も聞き、それと自分の意見を比べるということをしなければならなくなる。いい放しではなく、双方向となるコミュニケーションを目指していきたい。

そのためにも、事前にもう一度『話し方』『聞き方』の注意すべき点を児童にあげさせ、自分ができる点とできていない点を確認させたい。そして、できていない点に気をつけて話し合いに参加するようにしたい。

また、“よりよい意見にまとめる”ために気をつけることは、掲示をすることで意識付けを図りたい。つい夢中になると気をつけることを忘れがちになり、いつものようにいい放しになってしまう恐れがあるので、掲示を見ながら話し合いをゆっくり進めるように心がけたい。

5 指導計画

次・時	学 習 活 動
1・1	○教科書を読み、意見をまとめるための話し合いをする方法を理解する。 ・これまでの話し合いのときに「自分たちが気をつけていたこと」を確認

<p>2 3</p>	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CDを聞いたり，教科書を読んだりし，意見のまとめ方を理解する。 ・ 教科書のそれぞれの子どもの意見や理由，進行係の発言の意味や役割を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">『よりよい意見にまとめるための留意点』をまとめ，掲示する。</div>
<p>2・ 1 2 3</p>	<p>○『よりよい意見にまとめるための留意点』を意識しながら，実際に話し合いを行う。 議題は「学級レクで何をするか？」。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに話し合いをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">『よりよい意見にまとめるための留意点』と「自分たちが気をつけていたこと」のなかで“今まであまり気をつけていなかったこと”を確認し，常に意識しながら話し合いができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとの話し合いをもとに，クラス全体で話し合いをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">前時の話し合いを振り返り，『よりよい意見にまとめるための留意点』や“今まであまり気をつけていなかったこと”を意識して話し合いができたか確認する。本時はクラス全体での話し合いになるが，積極的に話し合いに参加できるように支援する。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いを振り返り，感想を書く。

6 参考資料

☆話し合いを上手に進めるためには？

①最初に「話題」をたしかめる。

②話題や目的に合った意見を言う。
(話からそれない)

③賛成か反対かはつきりと。

④理由をつける。

体験したことや知っていることを例に！

⑤とところどころで意見を整理する。

⑥他の人の意見を取り入れて、よりよい案を考える。

⑦意見が出つくしたらまとめ。

話し合いの心づもり

○静かに聞く。

○話している人に耳をかたむける。

◎人の意見も参考にして考える。

[話し合いの際に掲示したもの]

話し合いの感想

みんなが意見を考えるのがむずかしかった。自分でもいろいろ理由が考えられた。さん成 反対が は、きりするのができなかった。いい意見が出たからどれがいいかを考えるのがむずかしかった。しっかりと入の意見を聞いた。

話し合いの中で、自分の意見が通らなかった。でも、みんなの意見が通った。自分もいろいろ考えた。でも、みんなの意見が通った。自分もいろいろ考えた。でも、みんなの意見が通った。

話し合いの感想
①むずかしかったこと。

②これが良いと言うことは思っていたけれど、理由をさがさるのがむずかしかった。これも良いけれど、こつとも良いとまよってしまいました。

これからは、もっと良い案を考えて、とんぼいやはんたいをはっきりさせたいです。

感想

私は、話しあいでいけんや理由をいきました。理由を考えるのがむづかしかったです。でも自分のいけんをいってはいけません。はなしてうれしかたです。はなしあいでうれしかたです。はなしあいでうれしかたです。

話し合いの感想

わたしは、最初サカさんせいでした。それで、とんぼいやはんたいと、自分でもいろいろ考えた。でも、みんなの意見が通った。自分もいろいろ考えた。でも、みんなの意見が通った。自分もいろいろ考えた。でも、みんなの意見が通った。

〔話し合い後の児童の感想〕

7 成果と課題

○これまでの話し合いで児童が気をつけていたことは、

- ・ゆっくりと話す。
- ・みんなに聞こえるように大きな声で話す。
- ・理由をつける。
- ・静かに聞く。
- ・話している人を見る。
- ・話している人に耳を傾ける。
- ・人の意見も参考にして考える。

といった言わば「話し方・聞き方」に関わるものがほとんどであった。

そんななか、本単元の学習では、

- ・話題や目的に合った意見を言う。
- ・話し合いの所々で意見を整理する。
- ・他の人の意見を取り入れて、よりよい案を考える。

といった「話し合いの進め方」や「意見の内容」に関わるものについて気をつけながら話し合いを進めることになったので、児童にとっては新鮮で、意欲的に話し合いに参加することができていた。

○自分の意見に理由をつける際、“体験したことや知っていること”を例にするように考えている児童が多かった。

○“よりよい意見にまとめる”ということを目的としながら話し合いを進めたことで、友達の意見もしっかり聞き、自分の意見と比較しながら話し合いができていた。特に、今まで自分の意見を言うことばかり考えていた児童が、友達が意見を言っているときも静かによく聞いている姿が見られた。

○友達の意見とその理由を聞いて、自分の考えと同じだったり、納得したりしたときには自然と拍手する姿が見られた。

○友達の意見を参考にして、自分の立場（賛成か反対か）をはっきりさせることができた児童が多かった。

○“よりよい意見にまとめる”ときに、「反対意見」がかなり多くなった。自分がどの意見に賛成で、どんな理由からかを考えるよりも、反対する理由をさがす方が意見が重ならずと言えるということがその要因だったかもしれない。一つの意見に対して反対意見が出るということは目標としていた“双方向のコミュニケーション”が成立していることなので一つの成果と言えるかもしれない。しかし、反対することも大切であるが、“よりよい意見にまとめる”という目的を考えると、より多くの賛成者がいる意見を追い求めていきたい。また、多数ある意見のそれぞれのなかから“よい点”を出し合いながら、意見をまとめていけることがよいと思う。今後の話し合いでは、よい点をたくさん見つけながら、よりよい意見にまとめることができるように支援をしていきたい。